

かい そう かい そう 海藻と海草

海藻と海草。読み方はまったく同じですが、
両者は体の構造がまったく異なります。

海藻と海草は、読みが同じ「かいそう」であり、しばしば混同される場合があります。(はっきりと区別するために、海草のことを「うみくさ」と読む場合もあります。)しかし、両者はまったく異なるグループに属しています。

海草とは、陸地にはえている木や草と同じグループで、種たねを作って増える種子植物です。つまり、私たちが普段目にしている植物と同じものです。陸上の植物と同じように、根・茎・葉の区別があり、多くの種は砂地に根を張って生活します。

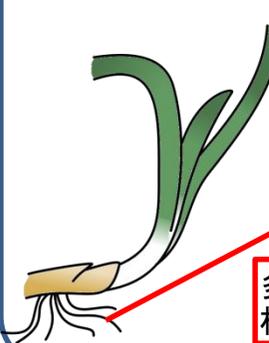
これに対して、海藻とはコンブやアオノリそうるいなど藻類のことをいいますが、これらは陸上の植物とは全く異なるグループです。海藻は種ほうしをつくらず、孢子などで増えます。また、海藻の根かこん(仮根)は、陸上の植物の根と違って、地中の養分を吸うことはなく、岩などに付着するための器官です。さらに、陸上の植物にはある水や養分を運ぶ管い かんそく(維管束)が海藻にはありません。

海草



アマモ(アマモ科)

アマモなど海産の種子植物を海草とよんでいるが、種数はあまり多くない



根・茎・葉の区別があり、花を咲かせて種をつくる

根から養分や水分を吸収する

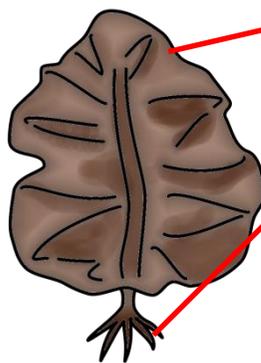
多くの種は、砂地に根をはって生活する

海藻



クロメ(コンブ科)

コンブやアオノリ、ワカメなどの藻類を海藻とよんでいる



水や養分は、体全体から吸収することができる

海藻の根(仮根)は、岩などにくっつくための構造

岩場など、固い基質がある場所で生活する